

増えています

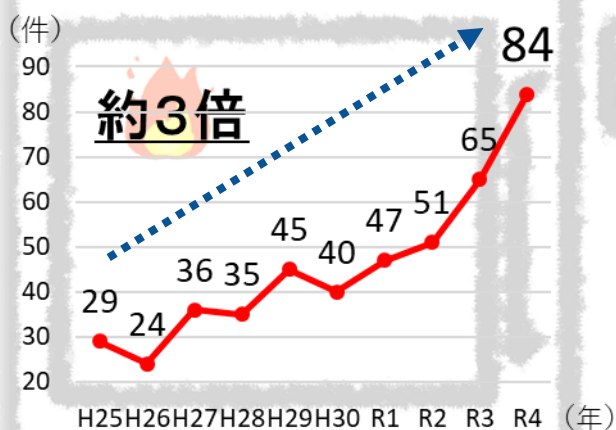


電子レンジ火災

東京消防庁管内では、電子レンジで食材を長時間加熱しすぎて火災になるなど、誤った使用による火災が増えています。

令和4年には84件（速報値）発生し、平成25年から令和4年までの10年間で、約3倍に増加しています。正しく使用し、電子レンジによる火災を防ぎましょう。

電子レンジ火災の件数



H25H26H27H28H29H30 R1 R2 R3 R4 (年)

※R4年は速報値です。

実際にあった事例

電子レンジでカップ麺を加熱中、カップ麺の容器から出火しました。

電子レンジの扉を開け、消しようとした際に、火が着衣に燃え移り、亡くなりました。

電子レンジ使用時の心得

- ✓包装の表示を確認してから加熱する。
⇒包装により出火するののあり！

袋ごとレンジ不可

※冷凍食品の包装の表示例

- ✓加熱時はその場から離れない。
- ✓周囲に可燃物を置かない。
- ✓加熱時間を長めに設定しない。
⇒さつまいもや肉まんなどは、長時間加熱すると急速に燃焼する危険あり！

電子レンジ火災時の対応

- 1、扉を開けずに電源遮断
- 2、扉を閉めたまま、庫内の様子を見る。
※扉を開けると、燃え広がる危険大！
- 3、火が消えなければ、消火器などを準備する。
※火災発生時は119番通報を忘れずに。



700Wで5分加熱したもの

お問合せ先



東京消防庁
Tokyo Fire Department



写真の電子レンジ及び食品は、実際の火災とは関係ありません。